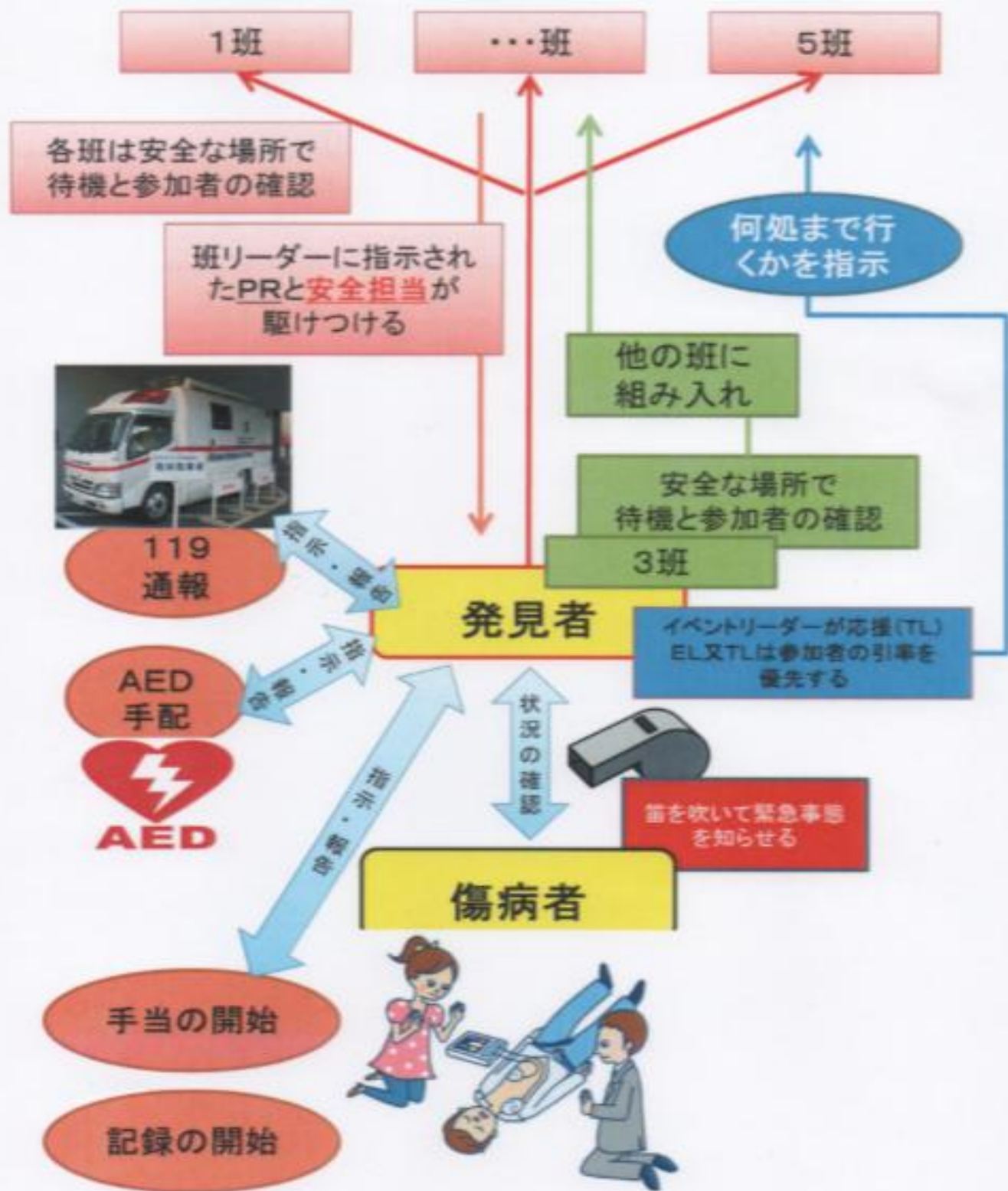


アクションカードの使い方



アクションカード

現場のリーダー (催しのリーダー or 代理者)

1 PRが集合し情報を共有する

- 現場に到着したこと、リーダーであることを大声で宣言する
- 手当をしているPR以外の者を自分の周りに集める
- 現場周囲が安全かどうかを全員で確認する
- 事故の状況をPR全員で共有する。

2 アクションカードを配付する。

- 119番通報の確認をする(まだなら119番通報カードを渡す)
- AEDの手配の確認をする(まだならAED手配カードを渡す)
- 手当の責任者を決めアクションカードを渡す(サブリーダー or 安全管理担当)
- 記録者を決めアクションカードを渡す
- 催し参加者への対応責任者を決めアクションカードを渡す
- 野次馬を整理する者を決めアクションカードを渡す

3 記録や連絡を行う

- 救急隊への引継ぎができるようにする(記録を渡す)
- 関係先への連絡をする(公社担当、園地所長、警察、傷病者連絡先等)

アクションカード

傷病者の発見・初動(第一発見者が対応)

※ 園地でイベント実施中に発生したとの想定
スタッフレンジャーが初動に対応する

- 1 傷病者の発見: 発生の時刻を確認しておく
- 2 周囲の安全確認と全身の確認(大量出血など)
- 3 反応(意識)の確認
 - あり: 容体を確認し、必要に応じて応急処置をする
 - なし: 以下を実施する
- 4 大声で応援を集める(スタッフに状況を伝え救急体制を構築してもらう)
- 5 119番通報、AEDの手配を指示する
 - 119番通報者を指定する(管理事務所が近い時は事務所の方に頼む)
 - AED運搬者を指定する(JPAのものか、最寄り箇所にあるものを持ってくる)
- 6 呼吸を確認する
 - あり: 気道確保と回復体位にして観察
 - なし: 以下を実施することになりました。
- 7 直ちに胸骨圧迫を実施
 - 胸骨圧迫を30回と人工呼吸を2回を繰り返す
- 8 AEDが届いたら電源を入れ装着、指示に従い電気ショックを与え
胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返す
(救急隊に引き継ぐまで、又は普段の呼吸や反応が戻るまで続ける)

アクションカード 119番通報

救急車誘導(119番連絡者が担当)

1 救急隊を現場に誘導する

- 現場リーダーに救急車を誘導に向かうことを報告する。
- 最寄りの園地入口へ行き待機する。
- 救急車を現場へ誘導する

※AEDが所在場所から届いた時

- AED運搬者を現場に向かわせる
- 救急車が到着するまで待機する

アクションカード AED手配

AEDの手配

1. AEDを手配する

- ①ハイキングの時は持参のAEDを現場に持ってくる
- ②最寄りのAED所在地に行きAEDを至急事故現場に持ってくる
- ③遠方の時はAED所在地に電話して現場に持って来てもらう

- AEDを手配したことを現場リーダーに伝える

AEDの所在地と電話番号表

園地	施設	住所	電話番号
くろんど	管理事務所	交野市大字私部3192-1	072-891-4488
ほしだ	ピトンの小屋	交野市大字星田5019-1	072-891-0110
むろいけ	森の工作館	四條畷市逢阪大字458-2	072-862-1724
	住友電セミナーハウス	四條畷市逢坂466-2	072-879-7505
	アイアイランド	四條畷市逢阪大字458	072-876-1911
中部	らくらくセンターハウス	東大阪市上六万寺町1748-2	072-988-4184
	森のレストハウス	東大阪市上四条町1913	072-984-6924
	慈光寺	東大阪市東豊浦町1823	072-981-8211
ちはや	ロープウェイ(山麓駅)	千早赤阪村大字千早9	0721-74-0128
	香楠荘	千早赤阪村大字千早1313-2	0721-74-0321

アクションカード 手当の開始—1／2

手当での責任者

1 手当で状況を確認する

下記の場合は、至急、現場のリーダーに報告する！

- 手当に必要な道具の不足（毛布、風除け、それらの代替物）
- 手当を行う人員の不足
- 様子に変化した場合（119番に追加通報するよう依頼する）
- 傷病者の様子や行った手当では現場リーダーに逐次報告する

2 心肺蘇生を実施した場合

- 2分間を目安に胸骨圧迫者を交代させる。
- 胸骨圧迫の正確性を確認する
 - 圧迫の位置（胸の真ん中）
 - 胸に垂直に
 - 圧迫と減圧は1：1
 - 深さ（5cm沈むまで圧迫する）
 - リズム（1分間に100回から120回）
- AEDが到着したら操作の指示を出す
- AED使用時の安全管理とショック回数を把握する

アクションカード 手当の開始—2/2

手当での責任者

1 手当で状況を確認する

下記の場合は、至急、現場のリーダーに報告する！

- 手当に必要な道具の不足（毛布、風除け、それらの代替物）
- 手当を行う人員の不足
- 様子に変化した場合（119番に追加通報するよう依頼する）
- 傷病者の様子や行った手当では現場リーダーに逐次報告する

2 心肺蘇生を実施した場合

- 2分間を目安に胸骨圧迫者を交代させる。
- 胸骨圧迫の正確性を確認する
 - 圧迫の位置（胸の真ん中）
 - 胸に垂直に
 - 圧迫と減圧は1：1
 - 深さ（5cm沈むまで圧迫する）
 - リズム（1分間に100回から120回）
- AEDが到着したら操作の指示を出す
- AED使用時の安全管理とショック回数を把握する

アクションカード 手当開始

記 録 (救急隊員に報告する内容)

1 事故状況を記録して救急隊員に伝える

- 事故(ケガ)の発生(把握)時刻 (:)
- 内容(どこで・何をしているとき・どこが・どうしたかなど)

- 心肺蘇生法の開始時刻 (:)
- AEDの開始時刻とショック回数 ()回
- 手当の内容 ()
- 傷病者の情報(わかる範囲で)
 - 名前 ()
 - 住所 ()
 - 年齢 ()
- その他:

アクションカード 参加者の確認

催しの参加者を誘導する責任者

1 催しの参加者を安全な場所に移動する

- 参加者の人数により複数のレンジャーで対応する(班担当リーダーなど)
- 参加者を移動させる安全な場所を決める
- 現場のリーダーに移動場所を伝える
- 参加者を移動させた場所で待機する
- 気分や体調不良を訴える参加者が要れば現場リーダーに伝える

アクションカード 整理

周囲の人の整理

1 野次馬の整理をする

- 救急現場に関係者外の立ち入りをしないように整理をする
- 傷病者が人目にさらされないよう見えないようにする